

授業科目 福祉用具Ⅳ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	義肢
妻 木 尚 美		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：G10】					
<p>少子・高齢化が進んでいる現在、わが国の福祉・介護問題は深刻化している。介護保険制度のサービスでは福祉用具の貸与・購入および住宅改修も導入されており、その利用率は年々増加している。そこで住環境整備の側面から高齢者や障害者の生活支援にあたる住環境コーディネートの基礎を学び、高齢者や障害者が安全で快適な生活を送るための住環境を提案できる力を修得する。バリアフリー対策が重用される福祉・医療施設で求められている人材を育成する。</p>					
【学習目標・行動目標：SB0】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 住環境における福祉の考え方と住環境整備の意義を理解する。 2. 福祉住環境コーディネーターの役割と機能を理解する。 3. 高齢者や障害者の疾患と障害特性、介護と住環境整備について学ぶ。 4. 福祉機器・用具の基本性能と、住環境における具体的な活用を理解する。 5. 福祉住環境コーディネート事例を学ぶ。 6. 福祉住環境コーディネーター3級検定試験合格を目指す。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	住環境整備の意義			1,6	講義と質疑応答、演習
2	少子高齢社会と共生社会への道			1,6	講義と質疑応答、演習
3	福祉住環境整備の重要性・必要性			2,6	講義と質疑応答、演習
4	在宅生活の維持とケアサービス			2,6	講義と質疑応答、演習
5	健康と自立			3,6	講義と質疑応答、演習
6	障害者が生活の不自由を克服する道			3,6	講義と質疑応答、演習
7	バリアフリー・ユニバーサルデザイン			4,6	講義と質疑応答、演習
8	生活を支えるさまざまな道具			4,6	講義と質疑応答、演習
9	安全・快適な住まいの整備			4,6	講義と質疑応答、演習
10	部屋別・場所別福祉住環境整備の手法			4,6	講義と質疑応答、演習
11	ライフスタイルの多様化とすまい			1,6	講義と質疑応答、演習
12	安心できる住生活とまちづくり			5,6	講義と質疑応答、演習
13	福祉住環境コーディネート事例（1）			5,6	講義と質疑応答、演習
14	福祉住環境コーディネート事例（2）			6	演習と解説、質疑応答
15	達成度確認試験				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		2009年度版福祉住環境コーディネーター 3級短期合格テキスト	渡辺光子	日本能率協会マネジメ ントセンター	1,600円＋税
参考書		福祉住環境コーディネーター検定試験3 級公式テキスト新版	東京商工会議所編		2008・2,500円＋税
その他の資料		適宜プリント配布			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席・学習態度：30% 確認テスト：20% 達成度確認試験：50%			講義と演習を並行して行うため、講義内容は集中して吸収し、積極的に質疑応答に参加すること。確認テストで間違えた部分はその日のうちに覚えること。		